

主日礼拝

2026 年 10 月 18 日
午前 10 時 30 分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「ハレルヤ。

わたしの魂よ、主を賛美せよ。
命のある限り、わたしは主を賛美し
長らえる限り
わたしの神にほめ歌をうたおう。
君侯に依り頼んではならない。
人間には救う力はない。
霊が人間を去れば
人間は自分の属する土に帰り
その日、彼の思いも滅びる。
いかに幸いなことか
ヤコブの神を助けと頼み
主なるその神を待ち望む人
天地を造り
海とそこにあるすべてのものを造られた神を。
とこしえにまことを守られる主は」

(詩編 146:1~6)

頌栄 24「たたえよ、主の民」



十戒交読

司式者 わたしはあなたの神、主であって、あなたを
エジプトの地、奴隷の家から導き出した者である。
会衆 サント サント サント (讃美 85)
司式者 あなたはわたしのほかに、なにものをも
神としてはならない。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 あなたは自分のために、刻んだ像を造っては
ならない。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに
唱えてはならない。
会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。
司式者 安息日を覚えて、これを聖とせよ。

会衆 サント サント サント (讃美 85)

司式者 あなたの父と母とを敬え。

会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。

司式者 あなたは殺してはならない。

会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。

司式者 あなたは姦淫してはならない。

会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。

司式者 あなたは盗んではならない。

会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。

司式者 あなたは隣人について、偽証してはならない。

会衆 主なる神よ、われらをあわれみ給え。

司式者 あなたは隣人の家を貪ってはならない。

会衆 サント サント サント (讃美 85)

85 「サントサントサント」



賛美 204「よろこびの日よ」



- 1 よろこびの日よ、ひかりの日よ、
なぐさめの日よ、いこいの日よ、
代々の聖徒の みまえにふし、
こよなき御名を たたえし日よ。
- 2 この日ひかりは やみに照りぬ、
この日わが主は よみがえりぬ、
この日聖霊は 世にくだりぬ、
よろこびみつる このあしたよ。
- 3 平和の鐘は いまもひびき、
めぐみの花は きよくにおい、
いのちの水は 湧きあふれて、
み民をきよめ、世をうるおす。
- 4 あめなる家に かえる日まで、
この日のさちを うたいつづけん、
父・子・聖霊のひとりの主を
こころあらたに たたえ歌わん。

祈祷

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげさせたまえ。
み国を来させたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32「キリエ・エレイソン」



聖書 ヨハネの黙示録 7:2~4、9~17

新約(新共同訳)P460、461

2 わたしはまた、もう一人の天使が生ける神の刻印を持って、太陽の出る方角から上って来るのを見た。この天使は、大地と海とを損なうことを許されている四人の天使に、大声で呼びかけて、
3 こう言った。「我々が、神の僕たちの額に刻印を押してしまうまでは、大地も海も木も損なってはならない。」4 わたしは、刻印を押された人々の数を聞いた。それは十四万四千人で、イスラエルの子らの全部族の中から、刻印を押されていた。9 この後、わたしが見ていると、見よ、あらゆる国民、種族、民族、言葉の違う民の中から集まった、だれにも数えきれないほどの大群衆が、白い衣を身に着け、手になつめやしの枝を持ち、玉座の前と小羊の前に立って、10 大声でこう叫んだ。

「救いは、玉座に座っておられるわたしたちの神と、小羊とのものである。」11 また、天使たちは皆、玉座、長老たち、そして四つの生き物を囲んで立っていたが、玉座の前にひれ伏し、神を礼拝して、12 こう言った。

「アーメン。賛美、栄光、知恵、感謝、
誉れ、力、威力が、

世々限りなくわたしたちの神にありますように、
アーメン。」

13 すると、長老の一人がわたしに問いかけた。「この白い衣を着た者たちは、だれか。また、どこから来たのか。」14 そこで、わたしが、「わたしの主よ、それはあなたの方がご存じです」と答えると、長老はまた、わたしに言った。「彼らは大きな苦難を通して来た者で、その衣を小羊の血で洗って白くしたのである。15 それゆえ、彼らは神の玉座の前にいて、

昼も夜もその神殿で神に仕える。

玉座に座っておられる方が、

この者たちの上に幕屋を張る。

16 彼らは、もはや飢えることも渴くこともなく、太陽も、どのような暑さも、彼らを襲うことはない。

17 玉座の中央におられる小羊が彼らの牧者となり、命の水の泉へ導き、神が彼らの目から涙をことごとくぬぐわれるからである。」

賛美 574「雪より真白い」

Den store hvide Flok, vi se
詞: Hans A. Brorson, 1694-1764

DEN STORE HVIDE FLOK (GREAT WHITE HOST)
曲: ノルウェー民謡



1 雪より真白い 衣を身に着け、 2 試練と迫害 耐えた勝利者たち、
み前に集まる 聖徒の群れ。 この世の旅路を 終えて祝う。
血によりあがなう 小羊たたえて、 なみだでまく種、 喜びに変わり、
手に手に棕櫚の葉 かかげ歌う。 み神の栄光 たたえ歌う。

説教 「苦難の先にある栄光」

賛美 390 「主は教会の基となり」

The Church's one foundation
詞：Samuel J. Stone, 1839-1900

AURELIA
曲：Samuel S. Wesley, 1810-1876

1 主 は きょ う か い の も と い と な り、
2 せ か い の た み は あ つ め ら れ て、
3 に く み あ ら そ い わ れ ら を さ き、
4 世 に あ る た み も さ り し た み も

み こ と ば を も て こ れ を き よ め、
▶ ひ と つ の か ら だ、ひ と つ の か て、
▶ ひ と は あ ざ け り の の し る と も、
▶ と も に ま じ わ り、か み を あ お ぎ、

わ れ ら を 死 よ り と き は な ち て、
▶ ひ と つ の の ぞ り、と も に わ か ち、
▶ か み は わ れ の さ け び を き き、
▶ と わ の し ょ う り を ま ち の ぞ み て、

つ か う る た み と な し た ま え り。
▶ ひ と り の か み の た み と な る。
▶ な み だ に か え て う た た ま わ ん。
▶ イ エ ス の き ま す を せ つ に い の る。

- | | |
|---|--|
| 1 主は教会の基となり、
みことばをもて これをきよめ、
われらを死より ときはなちて、
仕うる民と なしたまえり。 | 3 憎みあらそい われらを裂き、
人はあざけり ののしるとも、
神はわれらの 叫びをきき、
なみだにかえて 歌をたまわん。 |
| 2 世界の民は 集められて、
ひとつのからだ、ひとつの糧、
ひとつの望み、共にわかち、
ひとりの神の み民となる。 | 4 世にある民も 去りし民も
共にまじわり、神をあおぎ、
永遠の勝利を 待ちのぞみて、
イエスの来ますを せつに祈る。 |

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

ア - メ ン。 ア - メ ン。 ア - メ ン。

後奏

司 式：玉理 照子
説 教：向井 希夫牧師
奏 楽：福原 之織